



地域で学び地域で未来を拓く
‘生き活きおかやま’人材育成事業



Message

おかやま COC+ 推進協議会 委員長
岡山県立大学長 沖 陽子



大学が第3のミッションとして掲げた「社会貢献」において、地域志向型人材育成を介した地方創生を推進する施策が、全国で力強く牽引されています。

岡山においても、「地域で学び地域で未来を拓く'生き活きおかやま'人材育成事業」(文科省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」)を平成27年度から展開しています。県内9大学、9自治体、12団体の計30の事業協働機関が「おかやまCOC+推進協議会」を設置し、産学官民のオール岡山体制で取り組んでいます。

本学が代表を務める本事業は、教育改革、域学連携、産学連携の3本柱で構成されています。教育改革では、副専攻「岡山創生学」を開設し、地域学の基礎を修め、演習等で実践力を身につけた若者を輩出しています。平成30年度には、学生28名に初めて「地域創生推進士」の称号を授与しました。

域学連携では、総社市、笠岡市、備前市、真庭市に加え、赤磐市と岡山市に設置した「地域創生コモンズ」を拠点として、地域課題の解決に自治体やNPO等と共にアプローチしています。産学連携では、産業振興・地域産業ニーズと大学シーズのマッチングを目指し、さらに長期インターンシップを導入して持続的な雇用創出を図っています。

今後、変動性・不確実性・複雑性・曖昧性が唱えられる近未来社会において、地域の持続的活性化を進展させる良策は、本事業の延長線上に存在すると予測されます。皆様方の益々のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

岡山県知事 伊原木隆太



岡山県では、平成29年4月に「新晴れの国おかやま生き活きプラン」を策定しました。このプランでは、引き続き、「生き活き岡山」の実現を県政の基本目標に掲げ、「教育県岡山の復活」、「地域を支える産業の振興」、「安心で豊かさが実感できる地域の創造」を重点戦略として位置付けるとともに、地域課題の解決支援などを目指す「おかやま創生推進連携プロジェクト」に市町村、大学、企業、NPO法人等と連携して取り組み、おかやま創生実現の加速を図ることとしています。

このような中、岡山県立大学を代表とした産・学・官・民の30の事業協働機関が、教育改革、域学連携、産学連携の3つの柱の下に、地域を志向する人材の輩出やその受け皿づくりに取り組むことは、まさにおかやま創生に資するものであり、大変心強く存じます。

県も、事業協働機関の一員として、各機関と連携を図りながら、若者の地元定着の支援や、地域に貢献する人材の育成に全力を尽くしてまいりますので、ご協力賜りますようお願い申し上げます。



‘生き活きおかやま’ 地域志向人材の輩出 地域を志向し、地域の未来を切り拓く知識と高度な専門性を身につけた実践力のある人材の育成

副専攻「岡山創生学」では、学生が、学部・学科における専門教育（主専攻）とは異なる分野の知識や考え方を学び、専門教育を補完するだけでなく、社会に対する視野を広げ、柔軟な発想力や応用力を養うことを目的としています。まず、地域を知り、体験することから始まり、コミュニケーションと協働を通じた学びを経て、地域の抱える課題の発見及びその解決プロセスを考えることに取り組んでいます。

このような学びの流れに沿って構築した段階的なカリキュラムの履修を通して、社会の中での自分の役割を考え、様々な課題に向き合い、解決できる知識や技術を身に付け、社会で活躍するために必要なジェネリックスキル（社会人基礎力）を習得します。最終的には、認定基準を満たす学生に「地域創生推進士」という称号が授与されます。

○副専攻「岡山創生学」の開設

- ・ 専門教育とは異なる分野の学びを通じた発想力や応用力の養成
- ・ 地域課題の掘り起こしや課題解決プロセスの学習（地域連携教育の実施）
- ・ 地域課題の解決を通じたジェネリックスキル（社会人基礎力）の習得
- ・ 認定基準を満たす学生への「地域創生推進士」の称号授与

○地域創生推進士

- ・ 「おかやま」への深い理解と熱い愛情を持ち、「おかやま」の創生に貢献したいという強い意志を持った学生に対し、「おかやま」の次代を担う人材であると岡山県立大学の学長が認定する。

副専攻カリキュラム「岡山創生学」

| | 第1クォーター | 第2クォーター | 夏季休業 | 第3クォーター | 第4クォーター |
|------------------|-----------------|------------|-----------------|----------------|---------|
| 1年次 知る[知識] | | おかやまを学ぶ(1) | おかやまボランティア演習(1) | おかやまボランティア論(1) | |
| 2年次 学ぶ[協働] | 地域再生実践論(1) | | 地域協働演習(2) | | |
| 3~4年次 高める[実践] | | 地方自治論(2) | 地域インターンシップ(4) | | |
| | チームガバナビリティ演習(1) | | エンジニアリング演習(4) | | |
| | 地域保健福祉演習(1) | | | | |
| | デザインプロジェクト演習(4) | | | | |
| | 企業の組織と活動(2) | | | | |
| | | 起業の条件(2) | | | |

青背景：共通教育 紺背景：専門教育 黄文字：副専攻必修 ※()内は単位数

□おかやまボランティア論・おかやまボランティア演習

地域活動とは何かを考え、そのきっかけづくりの場を目指します。講義では、演習先からも講師を招き、活動について理解を深め、3日間の演習では、子どもの遊びの環境づくり・学習支援、地域イベントの支援等に主体的に参加します。

□おかやまを学ぶ

行政機関、経済界等の講師から、県内課題、地域経済等を学び、地域の魅力を知り、地域志向への意識を持つことを目指します。

□地域再生実践論・地域協働演習

1年次に学んだ「おかやまボランティア論・おかやまボランティア演習」をさらに深く掘り下げます。実践論では、地域課題への対処法等を学び取ることで、演習へのアプローチを系統的に学びます。10日間の演習では、実習を通して地域課題の掘り起こしと解決策を探り、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を身に付けます。

□長期インターンシップ

長期インターンシップには、自治体を対象とした「地域インターンシップ」と地域企業を対象とした「エンジニアリング演習」があります。これらは、いずれも4週間のインターンシップで、業種・職種選択時のミスマッチの回避や、ジェネリックスキル（社会人基礎力）の自己レベルの把握など、キャリア教育としての効果の向上を目指します。



岡山県

地域インターンシップ



備前市

地域インターンシップ



‘生き生きおかやま’ 持続的な雇用創出 地域産業支援による産業活性化の推進と雇用創出、地域での就業機会の環境整備

産業の振興では、地域産業のニーズに対し、大学のシーズとのマッチングを取り、共同研究を推進することで、米粉食品の開発などの食品産業の振興、ウォーキングバイシクルの健康増進効果の解明などによるヘルスケア産業の振興、ものづくり・ICT分野(デジタルエンジニアリング)の技術力向上の支援などに取り組むとともに、経営者向けにワークショップを取り入れたセミナーを開催しています。また、雇用先の開拓や、学生と企業のミスマッチを防ぐ観点から、地域企業を対象とした4週間の長期インターンシップを実施するとともに、学生が求める企業の理念や業績、職場環境と企業が求める学生の能力やキャリアとのマッチングに取り組んでいます。

○産業振興・地域産業ニーズと大学シーズのマッチング

- ・米粉食品の開発と工場開設等食品産業の振興
- ・ヘルスケア産業の振興
- ・ものづくり・ICT分野の技術力向上の支援
- ・経営・デザイン等セミナーの開催

○雇用マッチングシステムの開発

- ・学生が求める企業の理念や業績、職場環境と企業が求める学生の能力やキャリアのマッチングのシステム化

○岡山県立大学協力会との協働

- ・画像解析講習会、業種説明会、会社説明会などを協力会と協働して開催

エンジニアリング演習 (企業の長期インターンシップ)

事業協働機関が連携し、地域を志向する人材の輩出とその受け皿づくりを行うことを目的とした取り組みの一つとして、長期インターンシップ(エンジニアリング演習)を実施しています。「エンジニアリング演習」は、3~4年次の8月~9月(夏季休業)の期間に専門科目として開講しています。実施期間は4週間で、業種や職種選択時のミスマッチを回避するとともに社会人基礎力に関する自己レベルを把握するキャリア教育として取り組んでいます。

平成30年度の実施状況は、県内企業34社が受け入れ意向を表明し、その内20社で34名の学生が実習を実施しました。



‘生き生きおかやま’ 魅力ある地域づくり 地域協働で課題に取り組み、安心して生活できる魅力ある地域づくりに貢献

域学連携では、事業協働機関である総社市、笠岡市、備前市、真庭市、赤磐市、岡山市に設置した「地域創生commons」を拠点に、自治体やNPO等と協働して地域活動に取り組んでいます。

また、岡山県立大学地域連携推進センターとも連携を図り、同センターでは、地域課題について、「教育」「研究」「地域貢献」の3つの側面からアプローチしています。

○地域創生commonsの活用・地域課題の掘り起こしや解決

- ・副専攻「岡山創生学」の演習実施
- ・シンポジウム、公開講座、食育・プログラミング教室、アート展等の開催
- ・まちおこしイベント、ワークショップ、空き家活用支援、地産メニュー開発
- ・子育て支援、学習支援、健康増進支援、健康測定



おかやまボランティア演習

ロボット作成講習会 in 岡山
ロボット作成サポート



おかやまボランティア演習

備前市片上地区における
地域住民との防災マップづくり

地域活動の拠点 「地域創生commons」

主な地域連携活動

備前市／総社市

地域住民を対象とした
健康増進・食育推進活動



備前市／総社市

親子で学ぶプログラミング
Scratchを使ってゲームをつくろう！



総社市／笠岡市

おかやま健康応援プロジェクト
メディカルフィットネス講座



総社市／笠岡市／備前市／真庭市

commons子育て支援プロジェクト



赤磐市

映像プロモーション用の映画の作成



岡山市

歴史的町並みの
空き家活用による地域再生



真庭市



岡山市



総社市



赤磐市



笠岡市



備前市



- ◎地域創生commons まにわ 所在地：勝山文化センター内
- ◎地域創生commons そうじゃ 所在地：総社市清音福祉センター内
- ◎地域創生commons びぜん 所在地：備前市日生総合支所内
- ◎地域創生commons かさおか 所在地：笠岡諸島交流センター内
- ◎地域創生commons あかいわ 所在地：熊山支所内
- ◎地域創生commons おかやま 所在地：男女共同参画社会推進センター内

真庭市 岡山創生学 地域協働演習

木山を親子で楽しめる
「遊び場」に変えていく



笠岡市 岡山創生学 地域協働演習

農業・漁業・海洋資源を生かした
観光ルートの提言



おかやまCOC+推進協議会

おかやまCOC+推進体制 オール岡山

経済
団体

NPO

大学

自治体

企業

地域で学び地域で未来を拓く '生き生きおかやま' 人材育成事業

教育改革 COC+ 参加校の支援と展開

副専攻「岡山創生学」開設
「おかやま」が求め、「おかやま」を知り、「おかやま」を志向する
未来を拓く人材の育成

地域創生推進士

‘生き生きおかやま’
地域志向人材の輩出

産学連携 経済基盤の確立

「産業振興」
地域産業ニーズと
大学シーズのマッチング
「長期インターンシップ」

‘生き生きおかやま’
持続的な雇用創出

域学連携 生活基盤の確立

「地域創生コモンズ」
総社市 笠岡市
備前市 真庭市
赤磐市 岡山市

‘生き生きおかやま’
魅力ある地域づくり

地域定着率
向上

事業協働機関 おかやまCOC+推進協議会

「地域で学び地域で未来を拓く'生き生きおかやま'人材育成事業」は、県内9大学、岡山県など9自治体及び県内の経済団体等12団体の計30の事業協働機関により「おかやまCOC+推進協議会」を設置し、産学官民が一体となり、オール岡山体制で取り組んでいます。

本協議会には、最も重要な活動と位置付けられる「教育改革」に関する協議の場として「おかやまCOC+教育プログラム開発委員会」、事業の評価を行う場として「おかやまCOC+外部評価委員会」を設置し、継続性の高いPDCAサイクルを実施します。

さらに、岡山県立大学に「COC+推進本部」を設置し、事業の実施に関する学内の意思決定を担う「COC+推進本部会議」、具体的な企画立案等を担う「COC+推進企画委員会」、事業の全体調整・総合窓口等を行う「COC+推進室」を設置し、岡山県立大学が本COC+事業の代表として、事業を推進します。

オール岡山で進める人材育成

おかやまCOC+推進協議会

おかやまCOC+教育プログラム開発委員会

岡山県立大学／岡山大学／岡山理科大学／ノートルダム清心女子大学／就実大学／山陽学園大学／吉備国際大学／倉敷芸術科学大学／くらしき作陽大学／岡山県／総社市／笠岡市／備前市／真庭市／岡山市／倉敷市／高梁市／赤磐市／岡山県経済団体連絡協議会／岡山県商工会議所連合会／岡山県経営者協会／一般社団法人岡山経済同友会／岡山県中小企業団体中央会／岡山県商工会連合会／公益財団法人岡山県産業振興財団／株式会社中国銀行／株式会社トマト銀行／一般財団法人岡山経済研究所／株式会社山陽新聞社／特定非営利活動法人岡山NPOセンター

COC+推進本部

- ・COC+推進本部会議
- ・COC+推進企画委員会

COC+推進室

(岡山県立大学
地域共同研究機構内)

おかやまCOC+
外部評価委員会